

佐賀県立大学(仮称)の開学に向けて



佐賀県の「学び」を取りまく状況

子どもの割合が多い

15歳未満
子どもの割合

この25年間
全国 **3位** 以内



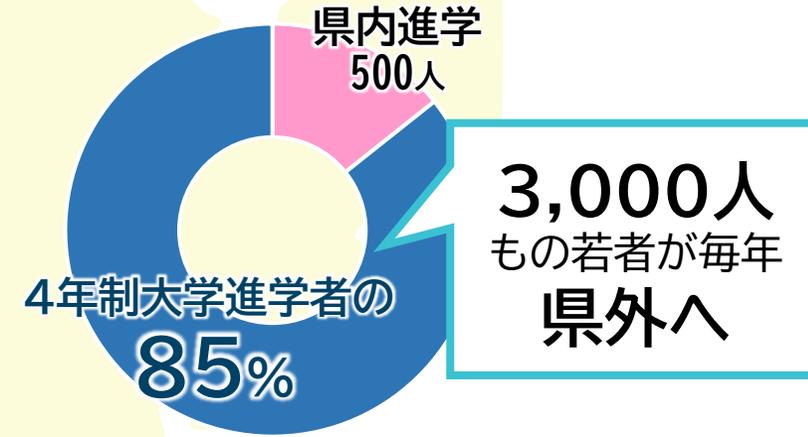
県内の4年制大学が少ない

子どもの人口規模が同じ県と比較

全国最少 **2校**



大学進学時に県外流出



4年制大学への進学者は増えている

平成元年3月
県内高卒者
12,000人

専門学校
短大等
4,000人

就職
6,000人

4年制大学
2,000人

令和6年3月
県内高卒者
7,000人

専門学校
短大等
1,500人

就職
2,000人

4年制大学
3,500人

公立大学は増えている

公立大学が
ないのは

全国で
4県のみ



平成元年
39校



現在 **101**校

佐賀県立大学(仮称)の開学に向けて

R5.10
県民座談会(県内5会場)



R6.7.23 設置場所決定



R7.1.27
協力事業所との交流会



協力事業所
現在207社

令和11年4月



開学

R6.1~
専門家チームとの検討開始



R7.2.14
県立大学の開学に向けた
現時点でのとりまとめ

R7.3~
建物の設計着手

R6.6 教育方針の基本的な考え方(案)
施設機能の考え方(案)

R6.1
県立大学に関する基本構想

R5.2
県立大学の基本的な考え方

引き続き
教育課程の検討
教員の確保 など

R9.10
設置認可申請

県内
26校参加

R7.3.18
第1回さが探究プレゼン大会



R7.1.24 学長予定者を決定



立教大学
山口和範(かずのり)教授
・大学経営の経験が豊富
・県立大学制度設計の中心
(専門家チームリーダー)
・佐賀出身、佐賀が大好き



ゼロからつくる！ 目指すのは チャレンジを続ける大学



日本一プロジェクトが生まれる大学

“チェンジ・メーカー”を育成

ディプロマ・ポリシー

学生に身につけてほしい能力

- ・ 課題発見、解決策創造、社会への実装
- ・ 多様性の尊重、周囲との協働
- ・ 枠に囚われず、失敗を恐れず、実践

カリキュラム・ポリシー

県立大の“学び”のイメージ

- ・ 県全体をフィールドにした**PBL**
- ・ 理論と実践の循環型の学び
それを実現するための知識習得、
力を培う科目を設定

アドミッション・ポリシー

入学者に求めること

- ・ 社会への興味、関心、学ぶ意欲
- ・ 課題解決、新たな価値の創造への意欲
- ・ 柔軟な思考力を養う意志

※ 現時点のとりまとめ

学外との 連携

- ・ **高大連携** の推進、小中高生が“ふだん使い”できる環境
- ・ オール佐賀のサポート体制、県全体がフィールド、各地にベースキャンプ（活動拠点）
- ・ 企業や市町に伴走支援、地域のシンクタンク機能、企業価値の向上につながる関係づくり

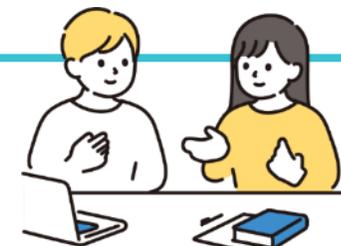
佐賀県立大学での学び ①

PBL

課題解決型学習

学生が 県内の企業や地域の現場へ。

自分たちで課題を発見し、その解決策を考えていく実践的な学び。



Project Based Learning

STEP 1

企業や地域の現場を知る
フィールドワーク



STEP 2

議論をかさねて
本質的な課題を発見



STEP 3

解決策を考える
試してみる！



STEP 4

現場のみなさんに
解決策を提案



佐賀県全体が「学び」のフィールド！ 課題を解決できる力を育む

佐賀県立大学での学び ②

高大連携

こうだいいれんけい

高校の探究学習(課題を自ら発見し、解決策を考える)の時間などを活用。
県立大学と県内高校との連携を推進。



高校の学びを県立大がサポート

大学生が高校のチューターに



連携してプロジェクト実践



探究学習の成果発表の機会を提供



高校生の学ぶ意欲アップ
探究心あふれるものに

継続することで小中学校へも波及

自分の「学び」
に対する
関心の高まり

大学を
“ふだん使い”
できる環境

大学を
身近に感じる

佐賀県全体の「学び」をよりよいものに

新しい時代を ひらく学びを、 SAGAから

佐賀県立大学



本日公開

動画でも紹介しています

PBL編



高大連携編

お問い合わせ先

佐賀県 政策部 さが政策推進チーム
TEL:0952-25-7494 FAX:0952-25-7577
MAIL:kendaiteam@pref.saga.lg.jp